

**製品名: RIN3 ウサギポリクローナル抗体****カタログ番号: APRab17199**

研究使用のみ

**概要**

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、ラット、マウス
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:50-1:300,ELISA 1:2000-1:20000
分子量	107kDa

**抗原情報**

遺伝子名	RIN3
別名	RIN3; Ras and Rab interactor 3; Ras interaction/interference protein 3
遺伝子 ID	79890.0
SwissProt ID	Q8TB24
免疫原	抗血清はヒト RIN3 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 391-440

**背景**

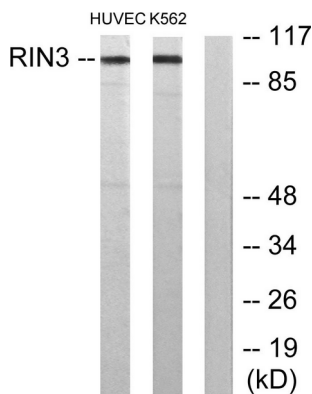
概要: この遺伝子によってコードされるタンパク質は、RAB5 低分子 GTPase の結合パートナーである Ras 相互作用干渉タンパク質の RIN ファミリーのメンバーです。このタンパク質は、RAB5B および RAB31 のグアニンヌクレオチド交換として機能します。選択的

スプライシングにより、複数の転写バリエーションが生じます。[RefSeq 提供、2016年2月];注意: Asp-168 から Pro-327 までの領域は、マウス配列との類似性に基づいてゲノム配列から推定されました。機能: 潜在的な Ras エフェクタータンパク質。結合した GDP を遊離 GTP と交換することにより、グアニンヌクレオチド交換 (GEF) として機能する可能性があります。類似性: RIN (Ras 相互作用/干渉) ファミリーに属します。類似性: 1 つの Ras 関連ドメインを含みます。類似性: 1 つの SH2 ドメインを含みます。類似性: 1 つの VPS9 ドメインを含みます。細胞内局在: チロシンリン酸化シグナル伝達の活性化により、細胞質小胞への移行が誘導されます。サブユニット: RAB5B および BIN1 と相互作用します。組織特異性: 広く発現しています。

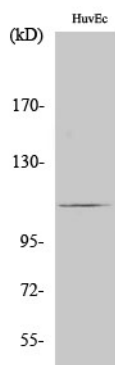
## 研究分野

シグナル伝達経路; G タンパク質シグナル伝達; 低分子 G タンパク質; 調節因子; シグナル伝達; タンパク質輸送; 小胞輸送; 調節

## 画像データ



RIN3 抗体を用いた HUVEC および K562 細胞のライセートのウェスタンブロット解析。右レーンは合成ペプチドでブロッキングされている。



RIN3 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析